

「災害救助犬」育成プロジェクト

生涯のパートナー
を募集中!



目的

災害対応

「南海トラフ巨大地震」などの大規模災害時に人命救助や行方不明捜索活動に力を発揮する「災害救助犬」を育成し、発災時の備えとする。

動物愛護対策

県動物愛護管理センターに收容される犬の中から、災害救助犬として資質のある犬を選定し、新たな飼い主に譲渡し災害救助犬として育成することにより、「動物愛護精神の醸成」を図り、県の目指すべきビジョンである「殺処分ゼロ」に向けた取組をさらに加速させる。

役割

① 県

- 県動物愛護管理センターに收容されている犬のうち、災害救助犬としてふさわしい素質を持つ犬の選定（2頭）
- 飼い主の公募

② 飼い主

- 訓練の実施（約1年間）

③ 企業

- プロジェクト資金の寄付

④ 訓練機関

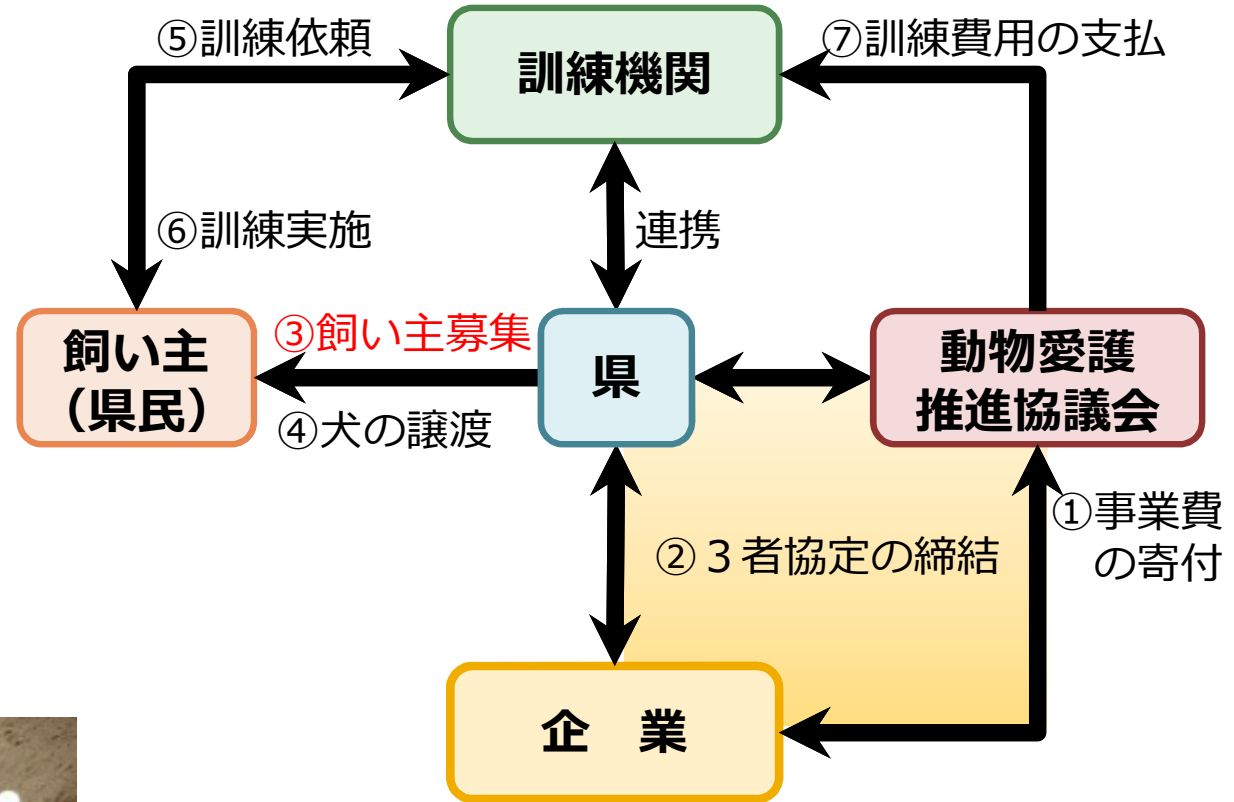
- 災害救助犬の訓練

⑤ 協議会

- 調整と災害救助犬の健康診断



スキーム



「人と動物の尊い命を守る」